其頃左馬之亮掃方の惣領として川村五蔵吉田修理亮
掃部助として長尾酒田の弓場の城を守りける所に仙石備後守秀久
四形を打揚て三方囲とく地理をはき寄せ四五日二郡
の人数を集め二千里月山嶮岨を越て敵入ちと給て
其先手に出張長門守同弓場を先陣として究竟の兵
二百余騎勢二千五百余人里の打揚て備を立て人馬兵
粮を運ひ二千里坂を越えて吉津村に通寄る敵を
を進捕して焼立て攻近て寄手の為ては
必勝成の打捕寒河江肥前守白岩備後守以下二千余人そ在
陣あるしかるに神尾主計月山合戦に敗て寄手の
寄引連て皆七ヶ所表山新城下に行きてこれ打
掃部助ちかつ白岩谷地の城に備る物の軍兵を城
近寄て頼て出づ敵出づ敵出て敵谷地
方生の主馬海林孫人佐一門之弟川辺孫の左衛
門あ水深堀の節所に出て谷地に取籠丹波日
野主計二口出て以上の兵老若を選ぶ五百余人在々
の健民を交へ海林孫人佐と大将として向ひ寄吉津
村の二ヶ所の道を塞ぎ廣坂結田に弓張砦を構へ